

## 「(仮称) 京田辺市こども計画」 骨子案等へのご意見と対応 (案)

令和6年10月1日に開催した「京田辺市子ども・子育て会議」において「(仮称) 京田辺市こども計画」骨子案について説明し、3名の委員から7件のご意見等がありました。

整理 番号	ご意見の概要	対応 (案)
1	京都府からの委託事業で「学校と連携した妊娠・出産に関する啓発事業」を実施しているが、京都府の事業は、一度しかつかえないもので、子ども達が毎年、継続した学びが得られるよう、学校と専門家のマッチングを実施してほしい。	関係所属に伝え、京都府事業の動向も踏まえ、本市での今後の取組について検討いたします。
2	「プレコンセプションケアの啓発」 今までも、栄養指導、がん予防など健康管理における啓発はされていたが、特に、性に関する教育や普及啓発を幅広い世代へアプローチをしていく必要がある。まずは、行政機関内での勉強会、市内の学校や企業での研修などを進めていくのはどうか。	ご意見を参考として素案に掲載する事業に追加いたします。 【掲載箇所】 基本目標Ⅰ(1)Ⅱ(1) 【関係課】 子育て支援課、健康推進課
3	地域の子ども会イベントで、同志社女子大学の研究会にご協力いただいている。自らこの研究会の存在を知り、アポイントをとり、つながることができた。 同志社大学・同志社女子大学で、地域やこどもを対象として活動しておられる学生やグループがあると思う。どのような活動をしているグループがあり、どこに連絡すればいいのか等、市のホームページに掲載してもらえれば、イベントに応じてお願いできると思う。	同志社大学・同志社女子大学ともに学生のボランティア支援についての情報をホームページに掲載されており、市に問合せをいただいた場合は紹介していますが、周知について、改めて検討いたします。 なお、市のホームページでは、市民活動団体の紹介をしており、その中にご登録いただいている同志社大学学生の団体等を紹介しているため、こちらの啓発についても、広く市民のみなさまに周知できるよう改めて検討いたします。

整理 番号	ご意見の概要	対応（案）
4	<p>通学・通園路の安全対策において、安全ボランティアの高齢化が課題と考えている。安全ボランティア募集を強化されていることを伺ったが、募集を強化しても、ご協力いただける方が年配の方なら、根本的な解決にならないと思うため、地元の企業やお店にご協力いただき、子ども達の登校や下校の時に交差点や通学路で安全ボランティアとして見守りをしていただく、ということを提案させていただく。</p> <p>市から市内にある企業やお店に協力依頼をしていただけるとありがたい。企業も社会貢献になると思う。</p>	<p>子ども達の登下校時の見守りについては、学校安全ボランティアのほか、市内の郵便局と協定を結んで見守り活動にご協力いただいているところですが、ご意見を参考に体制の充実に努めます。</p> <p>【掲載箇所】 基本目標Ⅲ（１）、Ⅲ（２）</p> <p>【関係課】 学校教育課</p>
5	<p>せっかく充実した教育・保育をしていただいても市民が知らなければ意味がないので、「教育・保育内容の充実」に”発信””周知”などの文言を付け加えていただきたい。</p>	<p>いただいたご意見を踏まえて、素案の事業概要に反映します。</p> <p>【掲載箇所】 基本目標Ⅰ（２）</p> <p>【関係課】 保育幼稚園課</p> <p>また、ご意見をいただいた「教育・保育内容の充実」以外の事業等についても共通して、情報発信の強化は課題であると考えますので、こども計画では重点的な取組として掲載してまいります。</p>
6	<p>「京都府学力・学習状況調査～学びのパスポート～」の結果の中に「京都府版はぐくみたい力に関する調査（非認知能力に関する調査）」とあった。</p> <p>骨子案では、学童期・思春期に「学力の充実・向上と個性を生かす教育の推進」とあるが、学力だけでなく”非認知能力の育成”も京田辺市として取り組んでいただき、事業に入れていただきたい。</p>	<p>関係所属に伝え、本市での今後の取組について検討いたします。</p> <p>なお、京田辺市教育振興計画の第３章２基本方針（１）２）「豊かな人間性をはぐくむ教育の推進」に基づき、学校における全ての教育活動において取り組んでまいります。また、小学校４年生から中学校３年生で実施する「京都府学力・学習状況調査～</p>

整理 番号	ご意見の概要	対応（案）
		<p>学びのパスポート～」の分析・考察を各学校で行い、非認知能力を育む取組を進めてまいります。</p>
7	<p>個人の経験として、産後のメンタルケアとして子どもを連れていける遊び場で過ごすことに大変助けられた。支援センター、児童館、園庭開放など（子育て仲間づくり、普段の様子を知る先生に気軽に相談できる）、”相談”と名前が付く前の段階での予防的な支援も、事業例として挙げてもらいたい。</p>	<p>骨子案では事業例として、各種相談事業をあげておりますが、地域子育て支援拠点、児童館等の施設に親子で立ち寄り、気軽に会話する中で交流や相談につながる居場所づくりに関しては、力を入れて取り組んでいるところでございますので、いただいた意見も参考に、素案に掲載してまいります。</p> <p>【掲載箇所】 基本目標Ⅱ（２）</p> <p>【関係課】 子育て支援課・保育幼稚園課</p>